

総務委員会会議録

- 1 期 日 平成26年3月3日(月)
- 2 会 場 第3委員会室
- 3 開会時刻 午前9時48分
- 4 閉会時刻 午後1時40分 (休憩66分)
- 5 出席者
- | | | | |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 山崎 恒男 | 副委員長 | 雪山 敏行 |
| 委員 | 堀内 武治 | 委員 | 鈴木 正治 |
| 〃 | 鷺山 喜久 | 〃 | 大石 勇 |
| 〃 | 小沼 秀朗 | 〃 | 山本 裕三 |
- (当局側) 市長、代表監査委員、総務部長、企画政策部長、
企画政策部付参与、危機管理部長、議会事務局長、
水道部長、消防長、南部事務局長、所管課長
- (事務局) 議事調査係 石山尚哲

6 審査事項

- ・議案第38号 平成25年度掛川市一般会計補正予算(第6号)について
 - 第1条 歳入歳出予算の補正
 - 歳入中 所管部分
 - 歳出中 第1款 議会費
 - 第2款 総務費
 - 第8款 土木費 (第3項4目、第4項5目のうち所管部分、第4項6目)
 - 第9款 消防費
 - 第12款 公債費
 - 第13款 予備費
 - 第2条 繰越明許費
 - 第3条 債務負担行為の補正
 - 第4条 地方債の補正
- ・議案第42号 平成25年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算(第1号)について
- ・議案第53号 土地の取得について

7 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成26年 3月 3日

市議会議長 大石 與志登 様

総務委員長 山崎 恒男

7 会議の概要

平成26年3月3日（月）午前9時48分から、第3委員会室において全委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 当局（市長）あいさつ
- 3) 付託案件審査

[9:50～13:24]

①議案第38号 平成25年度掛川市一般会計補正予算（第6号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 歳入中 | 所管部分 |
| 歳出中 | 第1款 議会費 |
| | 第2款 総務費 |
| | 第8款 土木費（第3項4目、第4項5目のうち所管部分、第4項6目） |
| | 第9款 消防費 |
| | 第12款 公債費 |
| | 第13款 予備費 |

第2条 繰越明許費

第3条 債務負担行為の補正

第4条 地方債の補正

第2款 総務費

第12款 公債費

第13款 予備費

[財政課、説明 9:51～9:59]

[質 疑 9:59～10:10]

○雪山敏行副委員長

基金の運用について、運用果実のみで事業を実施しているのはどれか。

●山本財政課長

運用益を事業に充当しているのは、地域福祉基金、林業振興基金の基金残高のうちの1億円分が果実運用型となっている。補正予算には計上されていないが、社会教育振興基金は残高が450万円だが果実運用型であり、運用益については社会教育講演会等に充当している。運用益をそのまま当年度の事業に充てているのはこの3つの基金である。

○雪山敏行副委員長

国の制度などいろいろな縛りがあって基金の取り崩しはできないのかもしれないが、例えばふるさと・水と土基金利子収入については1万6千円不足であるが、少額の基金は管理するだけでたいへんである。国の制度で作っているものもあるのだろうが、基金の目的が達せられないものについては、国の制度を変えることを提案していくのか、基金の目的の事業を行うために一般財源を投入するのか、どのように考えているのか。

●山本財政課長

ふるさと・水と土地基金、地域福祉基金については今から20年ほど前に交付税措置によって基金の造成をしたものである。現行、基金を取り崩して事業を行うような予定はない。運用した利子を積み立てているが、今後については基金の設置目的、時間の経過のこともふまえて、基金の処分の方法について県にも確認しながら検討していきたいと考えている。

○小沼秀朗委員

中央消防署の建設事業の起債が 4,300万円減額になっているのは、ひじょうによいことだと思う。消防団員の中には中央消防署の工事に関して気にしている人もいる。団員というのは異業種交流の場でもあり、建築業に携わる団員も多い。消防の機材、建物は特殊なものが多いため他市で実績のある業者を使いがちであるが、多くの団員も見ているので、経済の活性化のためにも市内の業者の活用について配慮をお願いしたい。

●松井三郎市長

市内業者の活用については常に念頭においているが、高度な技術を要するものについては、市内業者では無理なものもある。可能な限り配慮はするが、場合によっては広く技術の高いところから業者選定をすることもあることをご承知いただきたい。

●廣畑総務部長

契約担当として、地元企業への発注を最優先に心がけている。今後も徹底していく。

○小沼秀朗委員

中東遠総合医療センターの建設の際に地元企業の皆さんからそのような声が大きかった現実がある。地元の企業を活用しようという考えが念頭にあるとは思いますが、今度は消防署ということでこれも目立つ施設であるので、再度申し上げた。

●松井三郎市長

病院についても、分割発注をして可能な限り地元がとれるようにした部分もある。高度なもので掛川市内だけで対応が難しいもの、国庫補助金を大量に投入するものについては縛りがあるものの、方針としては可能な限り市内の業者を活用する方向でいるが、技術的に課題があるものもあるということをご承知いただきたい。

○鷺山喜久委員

予備費 3億円減額の根拠は何か。

●山本財政課長

3億55万 5千円の減額については、3億円を子ども希望基金に積み立てる。子ども希望基金の積立金の原資となったのは、平成24年度の国の補正予算において、地域の元気臨時交付金 6億円が国から交付されることとなった。このうちの 3億円については平成25年度の 3月補正予算で地域経済の振興等の目的で交通安全施設の整備、どぶ板的な事業等に活用した。残りの 3億円について予備費に留保していた。これを今後の政策的課題に対処するための財源として今回使わせていただいたということである。

○山崎恒男委員長

以上で質疑を終了する。

第 1 款 議会費

〔議会事務局、説明 10:10～10:12〕

〔質 疑〕なし

第 2 款 総務費

〔行政課、説明 10:12～10:17〕

〔質 疑 10:17～10:24〕

○堀内武治委員

印刷管理事務費について、印刷室の印刷機について有効に活用するべきだと思うが、自治会、市民活動グループ等が使用する際の取り扱い基準があるのか。

●大石行政課長

本庁の地下には印刷機が 1台、複写機が 2台ある。支所には地域支援の関係で印刷機を

用意している。本庁については職員との競合があるため、必ず行政課へ申し出ていただき、利用形態を報告していただくことになっている。個人情報に関係もあるため簡易な基準を設けている。

支所については、地域支援の関係のためそちらで受付をしているが、料金単価は本庁と同額である。

○堀内武治委員

使用するにあたっては料金をとっているのか。

●大石行政課長

複写機については1枚10円、簡易印刷機については1面1円という単価である。コンビニ等の単価を参考にして設定している。

○堀内武治委員

協働の活動のなかで印刷が必要になってくると思うが、そういう部分を有料でやるのがいいのかどうか、基準の整備が必要ではないか。市で使っていなければ、市民に使ってもらえばいいのではないか。市民活動、自治会で有効に活用してもらうことを検討する余地はないか。

●松井三郎市長

具体的なことは承知していないが、自治会関係であればほとんどのものが担当課のほうが必要で資料配付することが多くて、純然たる自治会活動、市民活動でだけでコピー機を使うことはそれほど多くないのではないか。市民活動、自治会が独自に活動して資料を作成する際の経費負担については、補助金を出して経費負担をするか、まったくの自主活動である場合にはコンビニと同料金でよいのか改めて内容を精査して検討をし、必要であれば改正をしていきたい。

○鈴木正治委員

選挙費が減額となっているが、当初に比べて少なくなったのは立候補者が少なかったためか。

●大石行政課長

市長選4人枠、実際の立候補者は2人。市議選33人枠、立候補者が26人であった。従前の選挙の立候補者数を勘案しての積算であった。

○山崎恒男委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

[管財課、説明 10:24~10:27]

[質 疑 10:27~10:30]

○雪山敏行副委員長

市有財産の未登記の問題は管財課が所管しているのか。

●小林管財課長

行政財産についてはそれぞれの所管課が担当している。

○雪山敏行副委員長

トータル的なデータは管財課が把握しているのか。掛川市では未登記の土地がたくさんあると聞いているが、それぞれの担当課が処理しているということによいか。

●小林管財課長

未登記の処理については担当課が責任を持って行っている。登記事務については管財課が申請を行っている。普通財産については管財課が所管している。普通財産についても未登記のものがあるので、財産台帳の整備を進める中で、処理をしていく予定である。

○雪山敏行副委員長

前向きにしっかりやっていただきたい。

●廣畑総務部長

和田岡地区で農道関係の未登記があるため、今回は地籍調査を早めに入れて、未登記の解消を含めて地籍調査を進めていきたいと考えている。

○山崎恒男委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔市税課、説明 10:30～10:33〕

〔質 疑〕なし

第2款 総務費

〔納税課、説明 10:33～10:36〕

〔質 疑 10:36～10:40〕

○堀内武治委員

滞納整理機構の平成25年度の実績は。

●栗田納税課長

平成25年度については15件約 4,600万円を移管した。12月末日時点での徴収実績が約 1,600万円で、移管額に対して35%程度の徴収実績となっている。

○山崎恒男委員長

コンビニ収納の事件について、残念な結果になったが、今後外部にお願いをして徴収事務を行うようになるが、業者に対する信頼度についてどう考えるか。

●松井三郎市長

たいへん残念な結果である。コンビニで税金を納めることができるということは、市民の利便性の向上、収納率を高める、という利点を想定してこのような形をとってきたが、こういう事件が起きたので、チェック体制を従前に増して高めていく必要がある。このようなことがないような形になるようしっかりとやらなくてはいけないと思っている。担当部局で検討をしている。

○山崎恒男委員長

納税後、督促がきて事件が発覚した。市民にしてみれば不愉快な思いをしたと思う。委託先にどのような指導をしているのか分からないが、業者の責任になることではあるが、市民の信頼を損ねることのないよう、扱う業者に注意を徹底していただきたい。

○山崎恒男委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔企画調整課、説明 10:40～10:45〕

〔質 疑 10:45～10:48〕

○雪山敏行副委員長

内陸フロンティア構想を今年度内に取りまとめるということだが、進捗状況はどうか。

●佐藤企画政策部付参与

現在、県の地域政策課と協議中である。新東名沿線については個々のエリアではなくゾーンとして考えるべきとの県から指摘もあり、中遠農林事務所との調整も行っている。そ

の関係で若干、構想のとりまとめについて時間がかかる見込みである。

○雪山敏行副委員長

年度内にまとまるのか。

●佐藤企画政策部付参与

3月中旬に中遠農林事務所と協議を行う。その関係で若干年度を跨ぐ可能性もある。

●松井三郎市長

内陸フロンティアの関係、特区問題、ここに来て静岡県ของいろいろな経済指数が、人口問題を含めて地盤沈下をしてきたということで、県の対応もしっかり位置付けができていないような気がする。そのようななかで個別の問題を進めていくが、企業の誘致方式の変更も先日の会議で県の担当課長から聞いたばかりであり、県もバタバタしているところがあるようなので、しっかり県の方針を確認をする作業を行うよう、今朝の部課長会で指示をした。県の方針、方向性を確認するようということであるので、少し時間をいただきたいと思っている。

○山崎恒男委員長

以上で質疑を終了する。

休憩 10:49～ 10:56

第2款 総務費

〔生涯学習協働推進課、説明 10:56～11:02〕

〔質 疑 11:02～11:06〕

○雪山敏行副委員長

協働のまちづくり元年ということで各種の協働のまちづくりを進めようということだったが、結果として市民活動モデル推進事業は当初予算に比べて三分の一程度になっている。PR不足だったのか、何か別の理由で実績が少ないのか教えていただきたい。

●高川生涯学習協働推進課長

PR不足ということではなく、市で考えられる広報は相当行った。市民活動団体に対する口こみについても協力をしていただいた。応募は11件、昨年度は14件だった。出来るだけ活用していただくようにPR、努力は行ったが、十分に活用できなかった部分はある。

●松井三郎市長

補助金をカットしてきたので、事業をやりたいという諸団体向けにこのような制度を作ったが、結果として少し補助率が低い。二分の一、三分の一だと、なかなか団体が自主財源を確保して事業展開をするのが難しい面があってこれだけの事業残が出たのではないかという分析をしているので、そのへんを次年度以降検討しなくてはいけないと思っている。PRは私もいろいろな団体に行って、補助金の陳情、要望を受けた際には、このモデル事業があるので挑戦をしてください、ということを行っている。市長としてはそのような見解である。

○雪山敏行副委員長

大事な事業だと思っているので、しっかり分析をしていただいて、推進について努力をしていただきたい。

○山崎恒男委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

第8款 土木費（第3項4目、第4項5目のうち所管部分、第4項6目）

〔地域支援課、説明 11:06～11:13〕

〔質 疑 11:13～11:29〕

○山崎恒男委員長

自主運行バスの補助金が減額になっているのは、経営が上向いたためという理解でよいか。

●田辺地域支援課長

経常経費が減額したことによるものである。

●高柳地域づくり係長

運行実績、利用者は前年度より増加している。特に増えているのが循環線の北回りが増加している。

○山崎恒男委員長

北回り線の乗客が増えたのはよいこと。補助の対象は6路線だけではないのか。

●田辺地域支援課長

循環バスも含めた8路線である。

○山崎恒男委員長

6路線の乗降客の増減はどうか。

●高柳地域づくり係長

自主運行バスの6路線のうち、東山、栗本線については前年度より増加した。居尻、倉真、桜木線については、前年度を下回っている状況である。

○堀内武治委員

松くい虫等防除事業費の減額については、松が枯れてしまってやる場所がなくなってしまった、という理解でよいか。

●田辺地域支援課長

当初見込んだ量よりも松枯れが少なかったためである。空中散布と松枯れを伐採して焼却するものの2通りの事業がある。空中散布については近隣の農産物の出荷時期に重なるために対象面積を減らしたり、松枯れの伐倒については現地調査をするなかで伐倒する対象が少なくなったためである。

○堀内武治委員

先日、大淵の植樹会に行ったが、第1線の状況はひどい。松くい虫の対策としては空中散布と伐倒して焼却、まだ目に付くのが多いので予算を目一杯使ってやるべきではないか。

●田辺地域支援課長

対象については県と現場確認をして決めている。市独自でというのは難しい部分もあるので、協議して進めていきたい。

●松井三郎市長

第1線あの松枯れのひどさ、あれを見て国も県も動かないのはおかしい、という声を出していきたい。同時に、掛川市として中遠農林事務所と個別折衝しながら、自転車道の後背地のかさ上げも含めて植樹がどうあるべきかということについても検討を進めている。静岡方式ということで、磐田、袋井、掛川、御前崎が一体となって可能な限り早い対応をしていきたいと思っている。松が軒並み駄目なところが多いので、防除を含めて、基本的に第1線の防災林を見直していかないと対応は困難だと思われるので努力していきたい。

○山本裕三委員

希望の森づくり寄付金の用途は何か。

●田辺地域支援課長

希望の森づくり事業は昨年度から実施している。そのなかで、パートナーシップ協定を52社と締結しており、寄付金、苗木提供、植樹の際に人を出していただくというように各社で対応していただいている。こういうところからいただいた寄付金であり、これからの希望の森づくり事業に充てて行く予定である。

○山本裕三委員

今年度で終わりなのか。

●田辺地域支援課長

このプロジェクトは 2年間の計画でやってきた。26年度からは新たにプロジェクトをスタートしたいと考えている。詳細は26年度の事業計画の中で説明させていただく。

○山本裕三委員

日曜日に植樹に参加させていただいた。素晴らしい事業であると思う。応援しています。

○鷺山喜久委員

バス交通対策費について、病院へのデマンドタクシーの利用者が午後になる人は、デマンドタクシーに乗れないと一般のバスかタクシーに乗ることになって負担が大きい。特に大須賀地区の方が影響を受けているようである。補助金が減った分を取り返すように、来年度から改善されることはあるのか。

●田辺地域支援課長

デマンドタクシーを運行しているふたつの会社からアンケートをいただいでいて、我々もそのような情報を掴んでいる。4月1日からデマンドタクシーの帰りの時間を変更する。今まで10時、11時、13時だったものを、11時、12時30分、14時に変更する。本数については行きが2便、帰りが3便ということでこれまでどおりである。公共交通会議で議決されたので、県、国土交通省に申請手続き中であるが、4月1日から実施できる予定である。

○山本裕三委員

バスに乗る人を増やさなくてはならない。掛川バスサービスに伺ったところ、車椅子の方や高齢の方が乗る際のサポート方法について運転手に教えるのは入社時に1回のみと聞いている。遠鉄のバスの運転手はかなり手厚い対応をとっていると聞いている。掛川の場合は予約制と聞いているがそうなのか。

●高柳地域づくり係長

掛川バスサービスの11台のバスのうち6台が車椅子対応のバスとなっている。事前に連絡をいただければ車椅子対応バスを回すようにしている。

○山本裕三委員

バスをすべて車椅子対応にするのは難しいとは思いますが、時刻表に対応バスか分かるように印をつけたらどうか。

●田辺地域支援課長

バス会社と相談させていただく。

●中山企画政策部長

研修の件についても会社に伝える。

○山崎恒男委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

[IT政策課、説明 11:29~11:33]

[質 疑] なし

第2款 総務費

[市民課、説明 11:33~11:36]

[質 疑 11:36~11:43]

○雪山敏行副委員長

市民課窓口委託の契約は済んでいるのか。

●山崎市民課長

2月 3月で実地研修を行っていただくため、すでに契約は終了している。

○雪山敏行副委員長

研修の中で課題、問題は出ているか。

●山崎市民課長

特に問題は出していない。菊川で 5年から10年程勤めた方がこちらにまわっていただけることになったので、ベテランの方に対応をしていただいている。処理に若干の違いはあるが、特に問題となるようなことは今のところない。

○雪山敏行副委員長

これまで非常勤として勤めていただいた方の移行はスムーズに行われているのか。

●山崎市民課長

非常勤の方についてはそれぞれの希望を聞いて、市に残りたい人もいるので、委託にまわる職員はいまのところ 3名いる。

○鈴木正治委員

戸籍副本データ連携構築委託の内容は。

●山崎市民課長

東日本大震災の経験を踏まえて戸籍の消失を防ぐために、東京管区以东は関西方面で、東京管区以西は北海道でデータを保管するもので、掛川市の場合は関西方面に副本データを送ることになった。不正侵入に対して市で措置を講じる予定であったが、国のほうで対応することになったため、減額するものである。

○山崎恒男委員長

住民票と印鑑証明のコンビニでの交付件数について、当初想定した件数より多いのか、少ないのか。

●山崎市民課長

交付件数については昨年度に比べて増加傾向にあるが、住基カードの普及が伸び悩んでいる。コンビニ交付件数については当初想定よりも少ないということはないが、住基カードの交付そのものが全市民の12%に止まっている。

○山崎恒男委員長

以上で質疑を終了する。

休憩 11:43～ 12:44

第9款 消防費

[危機管理課、説明 12:44～12:51]

[質 疑 12:51～13:00]

○山本裕三委員

防犯施設整備費、LEDの防犯灯のことだと思うが、減額するということは申し込みが少ないのか。

●杉山危機管理課長

885件の申し込みがあった。補助額一灯につき 1万 5,000円を上限、二分の一補助であったが、設置費が 2万 5,000円程度、補助額が 1万 2,000円から 1万 3,000円程度と、当初の見込みよりも安価に設置ができたため減額をお願いするものである。

○山本裕三委員

885件の設置は終わっているのか。

●杉山危機管理課長

概ね終了している。

○大石 勇委員

防犯灯設置補助は一年を通じて受け付けているのか、前年度の10月くらいまでに申し込みをして、翌年の6月くらいに許可を出して8月くらいに完了というような日程でやっていると思うが、それ以外にも申し込みがあれば随時受け付けをしているのか。

●杉山危機管理課長

25年度については、年度当初は前年度申し込みの分を対応していたが、LEDへの取り替えの要望が多くあったので、補正予算をとり年度の途中に募集をかけた。26年度は当初予算に計上しているのので、本年度10月までに申し込みをしてもらい、当初予算に要望を反映させている。年度の途中については、故障等で予算があれば年度内に対応するが、予算がなければ次年度対応としている。

○雪山敏行副委員長

津波対策が言われているなかで、津波避難設備整備事業費補助金が皆減に近いが、この理由は。

●杉山危機管理課長

津波避難設備整備事業費補助金は、企業等で補助率三分の一、限度額1,000万円で外階段等を作った企業に対して補助している。一昨年度、昨年度に該当の企業については実施済であるので、今年度はその他の企業分として予算を確保したが、該当する企業がなかったため、皆減状態となっている。

●栗田危機管理監

150号線の北側の企業で検討していたところが2件あったが、津波浸水域の確定を受けて事業を実施しないことになったため減額となっている。

○雪山敏行副委員長

死亡ゼロを掲げるなかで、せっかく予算取りをしているものをきちんと活用していかないとゼロにつながっていかないのではないかと。

●栗田危機管理課長

この補助金については震災があつてすぐに、掛川市の津波浸水想定区域について関係する全企業、自主防災会に補助金の趣旨と目的を説明した。過去2年間で14事業所と協定を結び、補助を行ったのが7社1地区、25年度についてはフランスベッド他が検討するということがあったが、今回は要望をしなかった。

●松井三郎市長

浸水域から外れた企業であるので、三分の二の企業の自己負担もあるため、それでもという呼びかけはしなかった。浸水域内の企業がそういうことであれば積極的に働き掛けをしないといけないと思っているが、浸水域外ということで、予算措置はしたが、企業のほうで浸水域外であれば、そこまでやらなくてもよいという判断であったので減額をした。

○鷺山喜久委員

企業のほうで結構だよということか。

●松井三郎市長

浸水域が150号線より南になったので、北側については津波が来ないということで企業が安全だと判断して補助制度に乗ってこなかった、ということである。

○鷺山喜久委員

150号線の南のほうは万全なのか。

●杉山危機管理課長

浸水域の中の人がいる場所では、避難タワーに5分以内に逃げられないところはなくなった。

○山崎恒男委員長

以上で質疑を終了する。

第9款 消防費

[消防総務課、説明 13:00～13:05]

[質 疑 13:05～13:22]

○小沼秀朗委員

消防団活動費について、退団者が当初の見込みより42名少なく、36名定員割れしているということは、新入団員が少ないということだと思いが、消防団員の勧誘についてどう考えているのか。

●白畑消防次長

これまで消防団員の確保は、現役の消防団員が次のなり手を確保して辞めていくことが多かったが、地域を守る消防団であるので地域の代表として、地域の方の協力も得ながら確保すべきということで、本年度は6月から11月中旬にかけて、各方面ごとに区長と団員、団本部、事務局との対話会を行った。地区として協力して動いていただけるようにやっている。本年度当初よりは若干の増員でスタートできる見込みである。

○小沼秀朗委員

消防団員の勧誘を区長さんの協力を得てやっていくということは理解したが、区長さんの力を借りないと消防団に入る方が見つからなくなったということは、消防団に入るメリットが減ってきたということだと思われる。協力金が廃止になった面も大きいと思うが、先日のまちづくりフォーラムの中でも、消防団等のボランティア活動をする方に対する税金の面での優遇などのメリットがないと団員の確保も難しいのではないかという話もあった。何か対策を検討しているのか。

●松井三郎市長

フォーラムの講師の考え方は私とほとんど一緒。ボランティアに対しても責任を持ってもらわなくてはいけない場合にどう処遇するか、とくに消防団についてはいろいろな責任が、自らの生命の安全保障の面もあるので、消防団員は特別職の公務員で、制度上一定の水準はあるが、そういうものをどう拡充していくかということと同時に、メリットの話、例えば消防団に5年従事すれば何かの資格の付与のようなものを検討しないと、少子化が進み増えるということは期待できないので、しっかりと検討をしていきたい。同時に、機能別消防団をどう再構築していくかということも不可欠であり、若い団員がいても昼間勤めに行っていて出動できないということもあるので、仕事を持っていない方に協力いただくような、町なかで松井元議員に取り組んでいただいている高齢者の機能別消防団員の確保、日坂、東山では実際にやっていただいている。消防団員には消火活動だけをお願いするということではなく、南海トラフの地震、大津波に対しても力をいただかなくてはならないので、消防団に入る利点があるように、国県でも制度改革をして団員確保に努めているので、それらを見ながらしっかりと対応していきたい。

○小沼秀朗委員

日本全国で問題となっていることである。機能別とは言っても自主防災会と変わらないようでは問題がある。私も提言をしていきたいと考えているので前向きな検討をお願いしたい。

○大石 勇委員

消防団員の確保について、企業と連携をとっているようなことはあるのか。

●白畑消防次長

県の法人税が最高10万円まで減額される制度がある、消防団員がいる事業所については協力事業所ということで認定をしホームページや広報で紹介している。団員のいる事業所が入札に参加する際に加点制度をとることを検討している。

○山本裕三委員

消防団員の確保について、例えば保育園に優先的に入れるような課を横断したメリット措置はとれないか。

●白畑消防次長

話は聞いている。幼児教育課にも相談を進めているが、待機児童の優遇について実現するまでには至っていない。

○山本裕三委員

実現できないのはなぜか。制度上の問題か。

●白畑消防次長

制度的な問題ではないが、待機児童の問題が全市的な重大な問題であるため、消防団員であるということで優遇措置をとることまで実現できてはいない。

○雪山敏行副委員長

中央消防署の建設工事が繰り越しになった理由は。

●白畑消防次長

民地を購入して敷地を拡張する予定であったが、1件購入できていない住宅があった。話がまとまり3月5日に解体工事に入る予定であるので、年度内には更地になって、掛川市に所有権が移る。それから造成工事が始まる。実際の建築工事には間に合うスケジュールである。

○雪山敏行副委員長

繰り越しはマンパワーが足りないということはないか。用地買収をする職員が少なく、交渉に度々行くことができない、国との調整等でマンパワーが足りないということが繰り越しの要因になっていることはないか。

●松井三郎市長

そういう要因がゼロではないと思うが、昔と比べて繰り越しに関する事務手続き上の問題で、昔は繰り越しは駄目だ、年度内にすべて処理をせよ、ということだったが、今は制度上国の補助金も県の補助金も繰り越しても文句を言われることはなくなったところもある。いい建物を作るには、バタバタと行うのではなく、しっかりしたものということで状況を判断して、場合によっては繰り越してきちんと行うべきという指導をしている。本来であれば繰り越さないのほうがいいが、用地の関係については必ずスムーズに行かない部分が出てくる。マンパワーだけの話ではなく、市民の側も意見をしっかりと主張するようになってきている。

○雪山敏行副委員長

計画した年度内きちんとやれば、それなりの効果はあるはずなので、その年度に執行するのが原則だと思っている。もし、マンパワーが足りないのであるのなら、組織体制、外部委託などを考えなくてはいけないのではないか。年度内事業執行に向けて努力をしていただきたい。

●松井三郎市長

国のほうも2月補正、3月補正というように制度を無視したような事業展開をしている。掛川市としては可能な限りそれに対応し、補助金を受けて繰り越すということもあるので、それに対応するマンパワーは十分ではないかもしれないが、平年ベースでいけば少ない職員のなかで頑張っている状況である。基本は年度内に完成するよう努力をしていきたい。

○雪山敏行委員

国の2月補正、3月補正のことを言っているのではなく、現実問題当初予算に計上されているものも繰り越しとなっているので、その点に留意していただきたい。

○鷺山喜久委員

裁判の話が出たが、掛川市が勝ちそうな裁判内容なのか。

●萩田消防長

本裁判は静岡地裁、東京高裁とも完全勝訴しており、最高裁においても心配することはないと考えている。上告提起は却下の状態であり、上告受理申し立てについて最高裁で審議をしているところで、不受理になる見込みである。

○山崎恒男委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕 な し

〔採 決〕
議案第 3 8 号 平成25年度掛川市一般会計補正予算（第6号）について
賛成多数にて原案とおりに可決すべし

.....
[13:24~13:29]

②議案第 4 2 号 平成25年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）について

〔管財課、説明 13:24~13:28〕

〔質 疑〕 なし

〔討 論〕 なし

〔採 決〕
議案第 4 2 号 平成25年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）について
賛成多数にて原案とおりに可決すべし

.....
[13:29~13:39]

③議案第 5 3 号 土地の取得について

〔管財課、説明 13:29~13:31〕

〔質 疑 13:31~13:38〕

○山本裕三委員

もう少し詳しい説明をお願いします。

●小林管財課長

場所は中東遠総合医療センター北側の東西に走る道路、市道高御所久保線である。通常は開発者が造成をし、道路を作り市に寄付をするというのが一般的な開発の手法であるが、今回は用地買収を含めて掛川市が国庫補助事業で行い、4割の国庫補助があり、残りの市の負担金6割を公社が負担金として市に支払うというルールで事業を行った。今回、掛川市に公社の道路用地を市に買い取ってもらう。寄付ではなく買い取りとしたのは、公社の負担を少なくし区画の販売単価を下げるためである。

○山崎恒男委員長

残る2路線は議決対象ではないということか。

●小林管財課長

そのとおりである。

○鷺山喜久委員

地目が宅地他、ということだが道路ということによろしいか。

●小林管財課長

実際は道路であるが、宅地造成をした部分であるので宅地という表現とした。

○鷺山喜久委員

この道路の利用者は誰か。

●小林管財課長

利用者については、不特定多数の人、一般の市民ということになる。

○鷺山喜久委員

病院に行く人、企業に勤める人、材料を納入する業者、製品を出荷するトラック等が使用すると考えてよいか。

●小林管財課長

そのとおりである。

○雪山敏行副委員長

国庫補助事業ということだったが、団地造成事業が国庫補助事業だったのか。

●小林管財課長

まちづくり交付金事業のなかで病院全体の道路網、7路線の地域整備をするための補助事業だった。

●松井三郎市長
国を補助金をもらったほうが有利だったということ。

〔討 論〕 な し

〔採 決〕
議案第53号 土地の取得について
賛成多数にて原案とおり可決すべし

.....

○山崎恒男委員長
以上で委員会を終了する。

4) 閉会 13:40